

備えておこう！

当マンションは倒壊リスクが低いため、在宅避難となる可能性大です。しかし、当マンションでは保管場所が無いため、飲料水、食糧、簡易トイレ等を備蓄していません。いざという時のために、日頃から各戸で準備(自助)しておきましょう。



チェック！家具の配置

いざというとき、外に出られますか？倒れて廊下や窓をふさいでしまうような家具の配置になっていませんか？



チェック！ガラス対策

窓や食器棚のガラスなど、割れて飛び散る危険性のあるものは、ガラス飛散防止フィルムを貼りましょう。食器棚には「耐震ラッチ」を取り付けると、食器の飛び出しを防げます。



チェック！非常備蓄品

「最低 3 日分」とよく聞きますが、首都圏では混乱のため、7 日程度は対応できないと言われています。7 ～ 10 日分の備蓄があれば心強いでしょう。特に高層階では孤立することもあるため、各戸で備蓄品を準備しておきましょう。



チェック！家具や大きな電気製品の固定

タンスや冷蔵庫、テレビなどは倒れるばかりでなく、飛んでくるおそれがあります。背の高い家具、重いものは固定しましょう。間柱のある場所を探してねじ止めをしてください（石膏ボードごととはがれてしまう場所がありますので、そこは避けてください）。



防火上、R2、R3、P2 棟の戸境の石膏ボードには、ねじ止めはできません。

懐中電灯		
電池		
ラジオ		
医薬品（常備薬、ガーゼ、包帯、三角巾）		
食料（カンパン、水、缶詰）		
衛生用品（生理用品、紙おむつ、清潔に保つ用品）		
トイレ用品（簡易トイレ、トイレトペーパー）		
ヘルメット		
毛布		
お金（10,100,500 円などのコイン）		
緊急連絡先一覧（友人、親戚、勤務先など）		
地図		
着替え（下着など）		

※コピーして定期的に見直しましょう。

確認日： 年 月 日

イニシア千住曙町

防災マニュアル

～地震編～



2015 年 防災・防犯委員会

いざ、その時

地震だ！

大きな揺れの最中は動かない！

丈夫なテーブルの下や、物の落ちてこない安全な場所に入って様子を見ましょう。
都市ガスは震度 5 以上で自動的にガス栓が閉じますから、無理に火を消そうとせず、揺れがおさまるまで待ちましょう。



揺れがおさまったら……

自宅内の安否確認

自宅にいる家族の安否を確認します。ケガの応急手当てをし、できない場合は助けを呼びましょう。ホイッスルがあると、身動きがとれないときに助けを呼べます。



出口の確認および情報収集

玄関ドアが開かなくなるかもしれません。その場合は、ベランダのパーティションを破って、おとなりから外へ出るようにします。

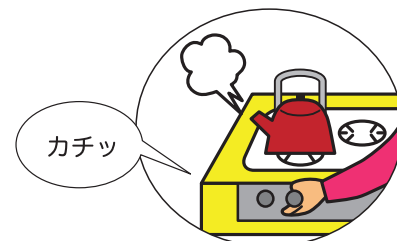
☒ **チェック！**パーティションはどこかな？（ない場合もあります）

区の防災無線や、マンションの防災センターからの放送が、よく聞こえるようにしましょう。

火の元の確認

ストーブやアイロンを切り、ガスの元栓を閉めましょう。

☒ **チェック！**自宅のガスの元栓はどこかな？



安否確認プレートの掲出

ブロック当番が安否を確認して回りますので、玄関ドアの外側に安否確認プレートを掲出しましょう。



ペットについて

3.11 の教訓から、外出先からのペットの安否確認依頼は受け付けません。

二次災害を防ぐために

～インフラ状態および注意点～

水道 停電するとポンプが止まるので、水道は使えなくなります。マンション地下にある受水槽は 3 日分の容量がありますが、飲み水としては使えません。飲み水以外の用途として、手動栓や手動ポンプでの水の配給が行われますが、数日で底をつくでしょう。
飲み水は各戸の備蓄品を使用してください。

都市ガス マンションの大元のガス栓が閉まると、各戸の元栓を開いても、ガスは使えません。東京ガスがマンションの大元のガス栓を開いてから、各戸の元栓を開いてください。

電気 おそらく停電するでしょう。電気が復旧したとき、電気製品の電源が入ったままだと、発火のおそれがありますから、メインブレーカを落としてください。そのあと、電気製品の主電源を切ります。ただし、火災検知器やインターホンが使えるになるので、赤カバーのセキュリティ電源は落とさないでください。

☒ **チェック！**自宅のメインブレーカはどこかな？セキュリティ電源は？

エレベータ

地震を感知すると、エレベータは最寄階で止まって扉が開きます。メンテ会社が復旧させます。なお、停電の間は、稼働しないものと考えてください。

セキュリティ 鍵をタッチして開けるセキュリティドアは、停電で開放状態になってしまい、誰でも通行可能になります。防犯のため、自宅の施錠をしてください。

ごみ置き場 区のごみ回収が開始されるまで、ごみ置き場は閉鎖します。各戸のベランダで管理をお願いします。

下水道 震度 6 以上の場合には、キッチン、トイレ、洗面台、お風呂、スロップシンク等、**すべての水を流さないでください。**排水管が壊れた場合、下のお部屋に汚水が染み出すおそれがあります。そうするとマンションそのものにも大きな損傷を与えることになります。「大丈夫」と確認できるまで、水は流さないでください。

